

教科指導におけるICT活用のための教員研修

授業や指導場面と結びつけたプログラムで！

ワークショップ型研修の事例

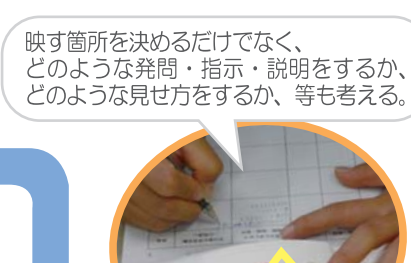
プロジェクタと実物投影機（書画カメラ）を活用して拡大提示



「教員研修 Web 総合システム TRAIN」等を利用して、ICT活用授業の実践事例を知る。



ICT機器を実際に設置する。経験の少ない者がやってみる（経験者はアドバイス役）。



映す箇所を決めるだけでなく、どのような発問・指示・説明をするか、どのような見せ方をするか、等も考える。



模擬授業を全員の前で実施する。終了後に「授業のわかりやすさ」を評価し合い、ICT活用指導力の向上に役立てる。



実際に拡大提示しながら、授業展開について議論する。わかりやすい書き込み方・スクリーンへの指し示し方等も検討する。



テーマ「教科書を大きく映してわかる授業をしよう」のもと、模擬授業の企画を練る。



ICT機器の操作にとどまらず、指導力の向上や授業改善のための研修を！

お役立ち情報はこちらにも！

■教員研修 Web 総合システム TRAIN

<https://train.nime.ac.jp/>



ICT活用指導力の基本的な考え方と具体的な指導場面でのICT活用指導力について研修できるビデオモジュール等があります。

■教育情報ナショナルセンター (NICER)

<http://www.nicer.go.jp/>



インターネット上にある日本の教育・学習に関するあらゆる情報を収集し、体系的に整理しています。

■実物投影機の教員研修に関する情報

http://www.elmo.co.jp/l-in_ff-1edu/book.html



実物投影機体験ワークショップのプレゼンテーションスライドをダウンロードできます。

■フラッシュ型教材の教員研修に関する情報

<http://eteachers.chieru.net/>



フラッシュ型教材作成体験ワークショップのプレゼンテーションスライドをダウンロードできます。

わかる・できる授業づくりにICT活用を！



わかりやすい！

これならできる！

※本パンフレットは、パナソニック教育財団先導的実践研究助成『文部科学省「教育の情報化に関する手引」に準拠した実践普及型「教科指導におけるICT活用パンフレット」の開発』（研究代表者：堀田龍也）によって作成されたものです。

わかりやすく説明したいとき・理解を深めさせたいとき

映像や図を大きく提示して説明したり、実際には見えにくいものをICTで提示したりすることが効果的です。



→ 野菜の下ごしらえ

細かい作業を大きく映して説明します。

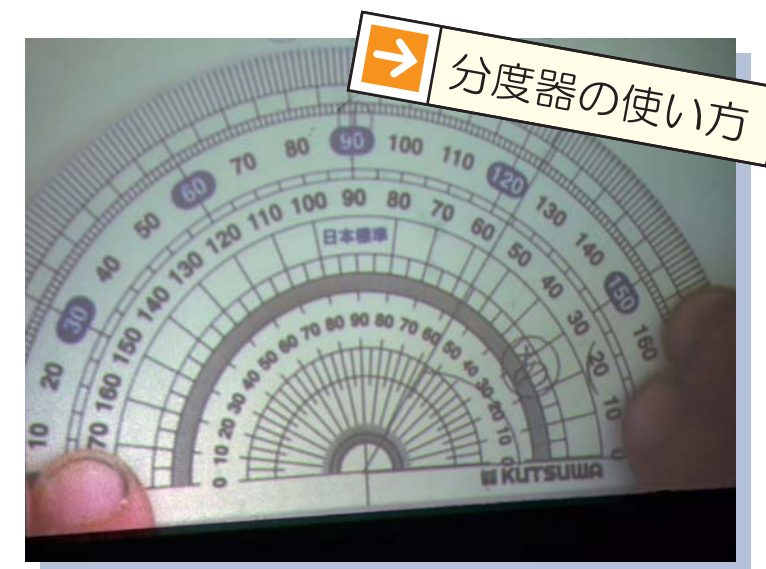
これならよく見えるね。



→ 毛筆の筆使い



拡大した手元を見せながら一文字ずつゆっくり書いていきます。



→ 分度器の使い方

子どもと同じ分度器を映して説明します。

一緒にやってみよう！



→ 天体のシミュレーション



複雑な事象などはシミュレーションソフトを使うとよりわかりやすく説明できます。

(札幌市版eランチ「地球と宇宙(小学生用)」)



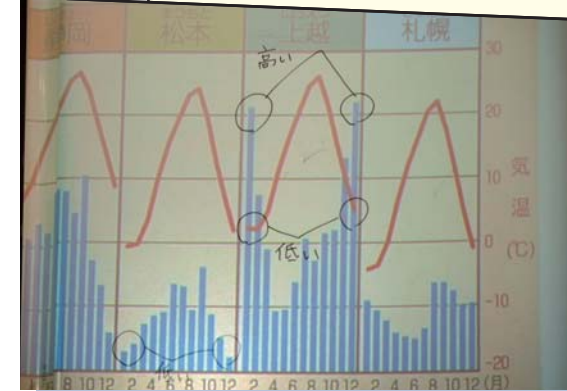
→ 意見交換

わかったことをまとめたノートなどを大きく映して話し合うことで、理解が深まります。

友だちの意見とくらべて考えられるよ。



→ 表やグラフの読み取り



表やグラフを大きく映し、読み取らせたい部分に書き込みをします。

(東京書籍「社会科資料集」5年)

→ 英語ノートの活用



コミュニケーションの場面を再現した「英語ノートデジタル版」を使うと、会話の仕方がイメージしやすくなります。

(文部科学省「英語ノート2」)